

# はびきの情報モラル指導モデルカリキュラム

| 分類                | 小義1・2年                                | 小義3・4年                          | 小義5・6年                          | 中学校（義7年以上）                        |
|-------------------|---------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1.情報社会の倫理         | <b>発信する情報や情報社会での行動に責任を持つ</b>          |                                 |                                 |                                   |
|                   | 約束や決まりを守る                             | 相手への影響を考えて行動する                  | 他人や社会への影響を考えて行動する               | 情報社会への参画において、責任ある態度で臨み、義務を果たす     |
|                   | <b>情報に関する自分や他者の権利を尊重する</b>            |                                 |                                 |                                   |
|                   | 人の作ったものを大切にすることを心もつ                   | 自分の情報や他人の情報を大切にすること             | 情報にも、自他の権利があることを知り、尊重する         | 個人の情報（人格権、肖像権など）を尊重する             |
| 2.法の理解と遵守         | <b>情報社会でのルール・マナーを遵守できる</b>            |                                 |                                 |                                   |
|                   |                                       | 情報の発信や情報をやりとりする場合のルール・マナーを知り、守る | 何がルール・マナーに反する行為かを知り、絶対に行わない     | 違法行為とは何かを知り、違法だとわかった行動は絶対に行わない    |
|                   |                                       |                                 | 「ルールや決まりを守る」ということの社会的意味を知り、尊重する | 情報の保護や取り扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る    |
|                   |                                       |                                 | 契約行為の意味を知り、勝手な判断で行わない           | 契約の基本的な考え方を知り、それに伴う責任を理解する        |
| 3.安全への知恵          | <b>情報社会の危険から身を守るとともに、不適切な情報に対応できる</b> |                                 |                                 |                                   |
|                   | 大人と一緒に使い、危険に近づかない                     | 危険に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する     | 予測される危険の内容がわかり、避ける              | 危険を予測し被害を予防するとともに、安全に活用する         |
|                   | 不適切な情報に出合わない環境で利用する                   | 不適切な情報に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する | 不適切な情報であるものを認識し、対応できる           | 安全性の面から、情報社会の特性を理解する              |
|                   | <b>情報を正しく安全にりようすることに努める</b>           |                                 |                                 |                                   |
|                   |                                       | 情報には誤ったものもあることに気づく              | 情報の正確さを判断する方法を知る                | 情報の信頼性を吟味できる                      |
|                   | 知らない人に、連絡先を教えない                       | 個人情報は、他人にもらさない                  | 自他の個人情報を、第三者にもらさない              | トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知る        |
| 4.情報セキュリティ        | <b>安全や健康を害するような行動を抑制できる</b>           |                                 |                                 |                                   |
|                   | 決められた利用の時間や約束を守る                      | 健康のために利用時間を決め、守る                | 健康を害するような行動を自制する                | 情報を正しく安全に活用するための知識や技術を身につける       |
|                   |                                       |                                 | 人の安全を脅かす行為を行わない                 | 情報の信頼性を吟味できる                      |
|                   |                                       |                                 |                                 | 自他の安全や健康を害するような行動を抑制できる           |
| 5.公共的なネットワーク社会の構築 | <b>生活の中で必要となる情報セキュリティの基本を知る</b>       |                                 |                                 |                                   |
|                   |                                       | 認証の重要性を理解し、正しく利用できる             | 不正使用や不正アクセスされないように利用できる         | 情報セキュリティに関する基礎的・基本的な知識を身につける      |
|                   | <b>情報セキュリティの確保のために、対策・対応が取れる</b>      |                                 |                                 |                                   |
|                   |                                       |                                 | 情報の破壊や流出を防ぐ方法を知る                | 情報セキュリティに関する基礎的な知識を身につける          |
| 5.公共的なネットワーク社会の構築 | <b>情報セキュリティのために、対策・対応がとれる</b>         |                                 |                                 |                                   |
|                   |                                       |                                 |                                 | 基礎的なセキュリティ対策が立てられる                |
| 5.公共的なネットワーク社会の構築 | <b>情報社会の一員として、公共的な意識を持つ</b>           |                                 |                                 |                                   |
|                   |                                       | 協力し合ってネットワークを使う                 | ネットワークは共用のものであるという意識をもって使う      | 情報社会の一員として、公共的な意識を持ち、適切な判断や行動ができる |
|                   |                                       |                                 | ネットワークの公共性を意識して行動する             |                                   |

【参考資料】



文部科学省  
『情報化社会の新たな問題を考えるための教材』  
児童生徒向けの動画教材、教員向けの指導手引



日本教育工学振興会  
『すべての先生のための「情報モラル」指導実践キックオフガイド 保存版』



文部科学省  
『情報モラル学習サイト』



日本教育情報化振興会  
『ネット社会の歩き方』